

こどもDXの推進

こどもDX 2025年度までに実現する4つのプロジェクト

プッシュ型 子育てサービス

アプリから必要な情報が先回りで届き、
知りそびれや申請忘れをなくす

母子保健オンライン サービス（PMH）

政府が実証中の基盤を活用し、マイナンバー
カード一つで医療費助成や予防接種を申請

保活ワンストップ

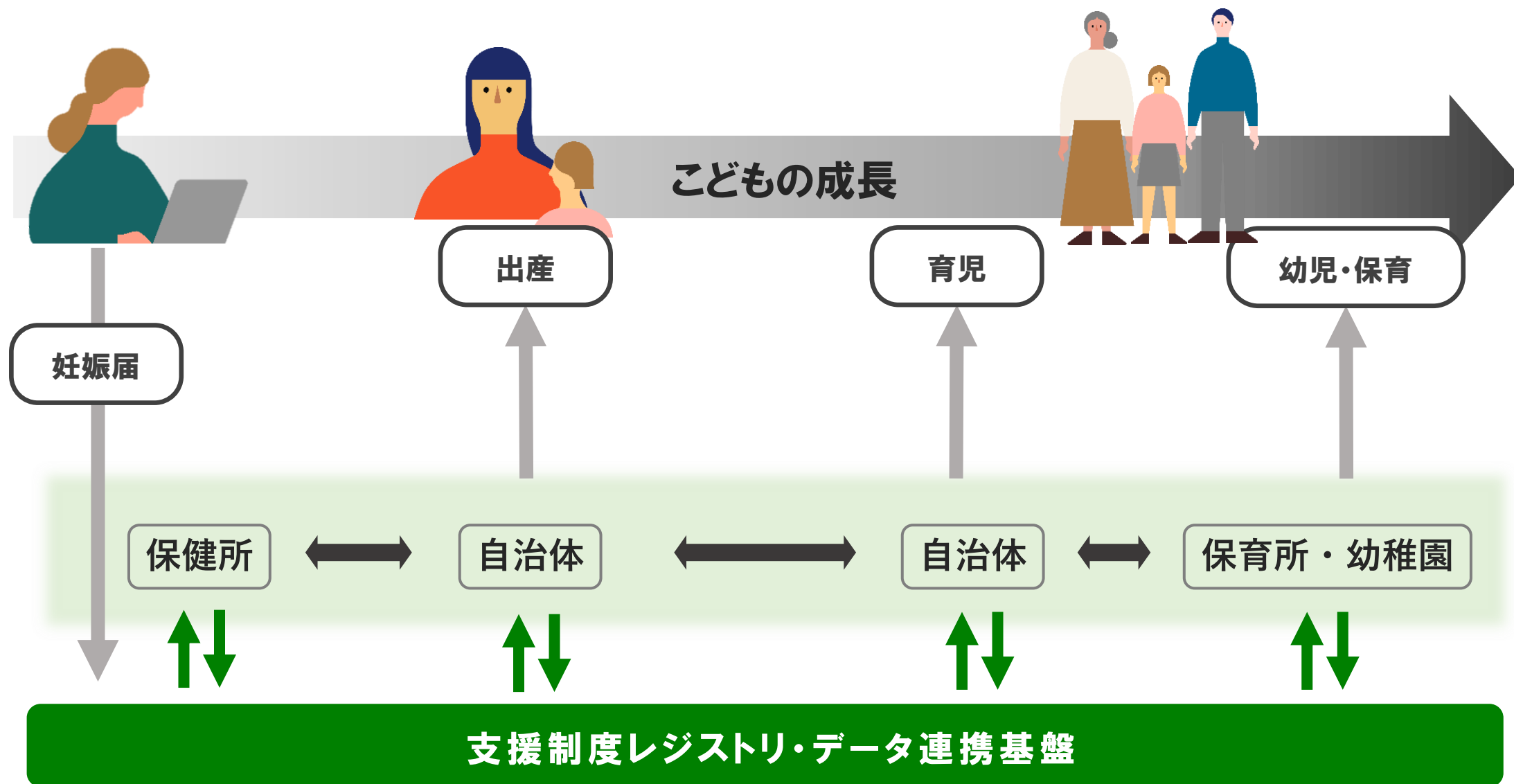
保育園探しから入園までの手続きがオンライン
で完結するワンストップシステムを実現

給付金手続きの 利便性UP

国、自治体の連携のもと、ワンスオンリーの
徹底や簡単便利で爆速の手続きを実現

プッシュ型子育てサービス

出典：東京こどもDX2025 つながる子育て推進会議（第1回）資料



プッシュ型子育てサービス

取組状況

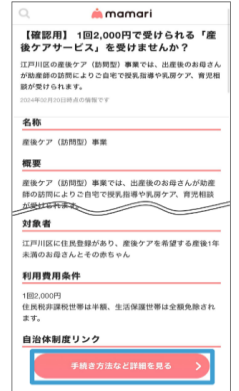
先行プロジェクトの取組状況

- 東京都、GovTech東京、一般社団法人こどもDX推進協会が官民連携のもと、江戸川区、町田市、瑞穂町、千代田区、豊島区、葛飾区 の **6** 自治体で先行プロジェクトを開始
 - GovTech東京が「子育て支援制度レジストリ」を整備
約**130**制度を東京オープンデータカタログサイトに公開
(5月末時点、今後順次拡大)
 - 協会会員事業者 **4** 社の協力を得てプッシュ型サービスを開始
- 
- 令和6年度は、**さらに5** 社が追加参画予定

＜東京オープンデータカタログサイト＞



<https://catalog.data.metro.tokyo.lg.jp/dataset/t134211d00000000001>



＜配信イメージ＞

今後の取組

- 東京都で先行する取組を踏まえ、国は都内56区市町村のレジストリデータを調査
令和6年度中に「東京都版レジストリ」を取りまとめ、GovTech東京がオープンデータ化
- 国は「全国版レジストリ」を整備し、令和7年度以降に子育てアプリと連携予定

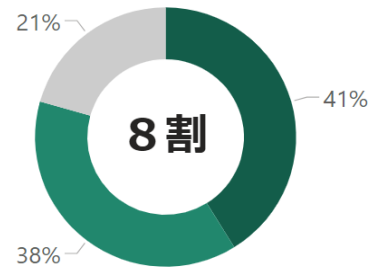
配信結果

- 「病児・病後児保育」、「子育てに関する相談窓口」など計**30**制度以上を民間アプリを通じて配信
- **30,000**を超える情報を利用者にお届け
- 配信開始から1週間で約**9**割が閲覧（コドモン調べ）

アンケート結果（一部）

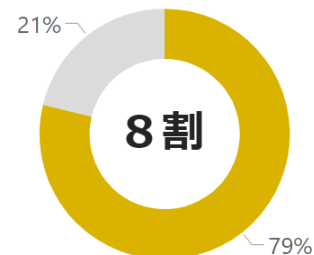
配信を便利と感じる人の割合

●とても思う ●そう思う ●おおむね思う



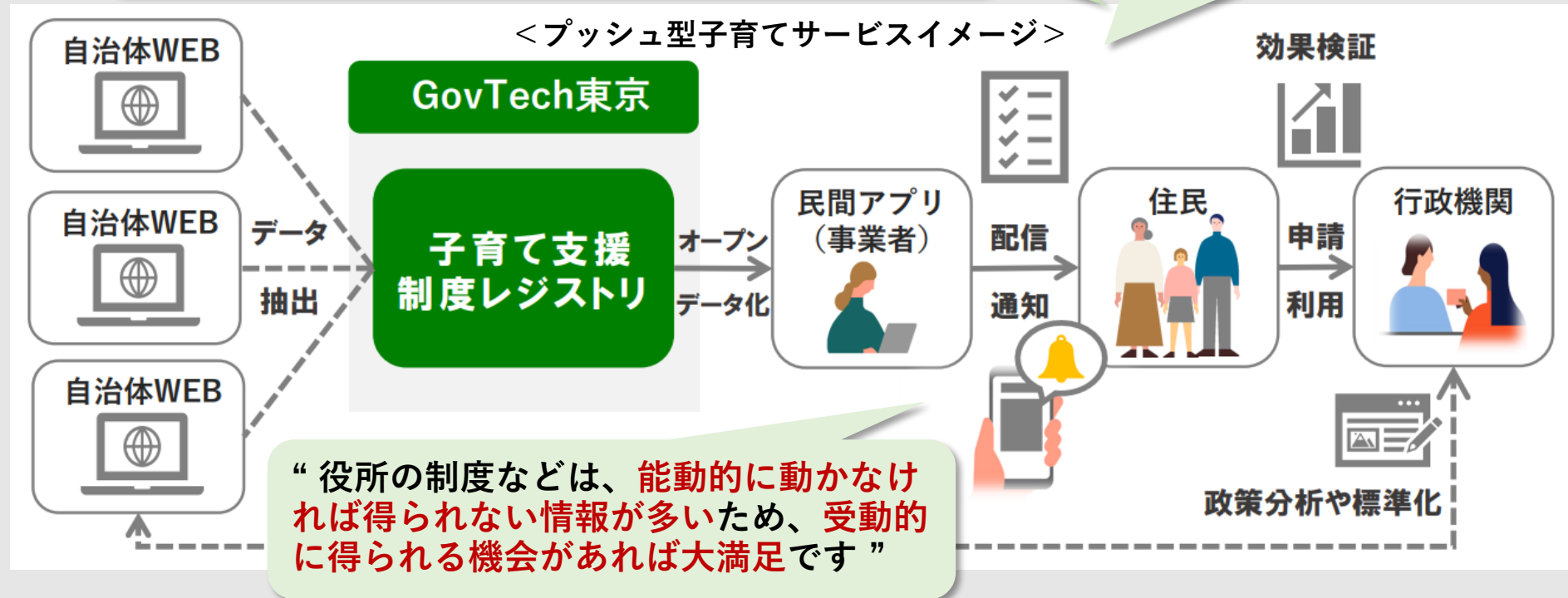
今後配信を希望する人の割合

●希望する ●希望しない



“ 保育園に掲示物があっても、慌ただしくてなかなかゆっくり見ないので、**スマホで情報を確認できるのはとてもありがたいです** ”

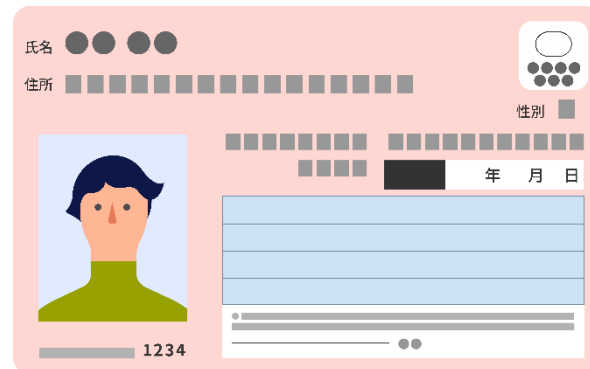
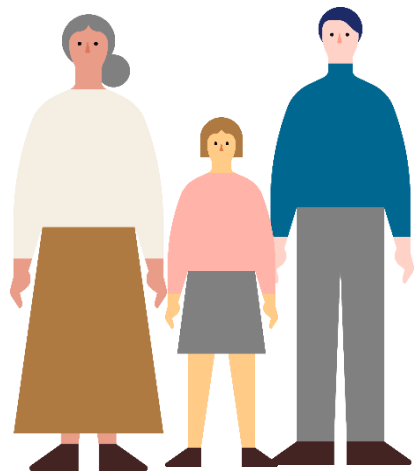
“ 制度のお知らせと共に申請期日近くになったら**リマインドもあるとありがたいです** ”



母子保健オンラインサービス

出典：東京こどもDX2025 つながる子育て推進会議（第1回）資料

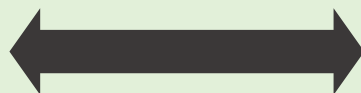
医療費助成や予防接種もマイナンバーカード一つで



医療費助成
予防接種・健診

行政機関

医療機関



支援制度レジストリ・データ連携基盤

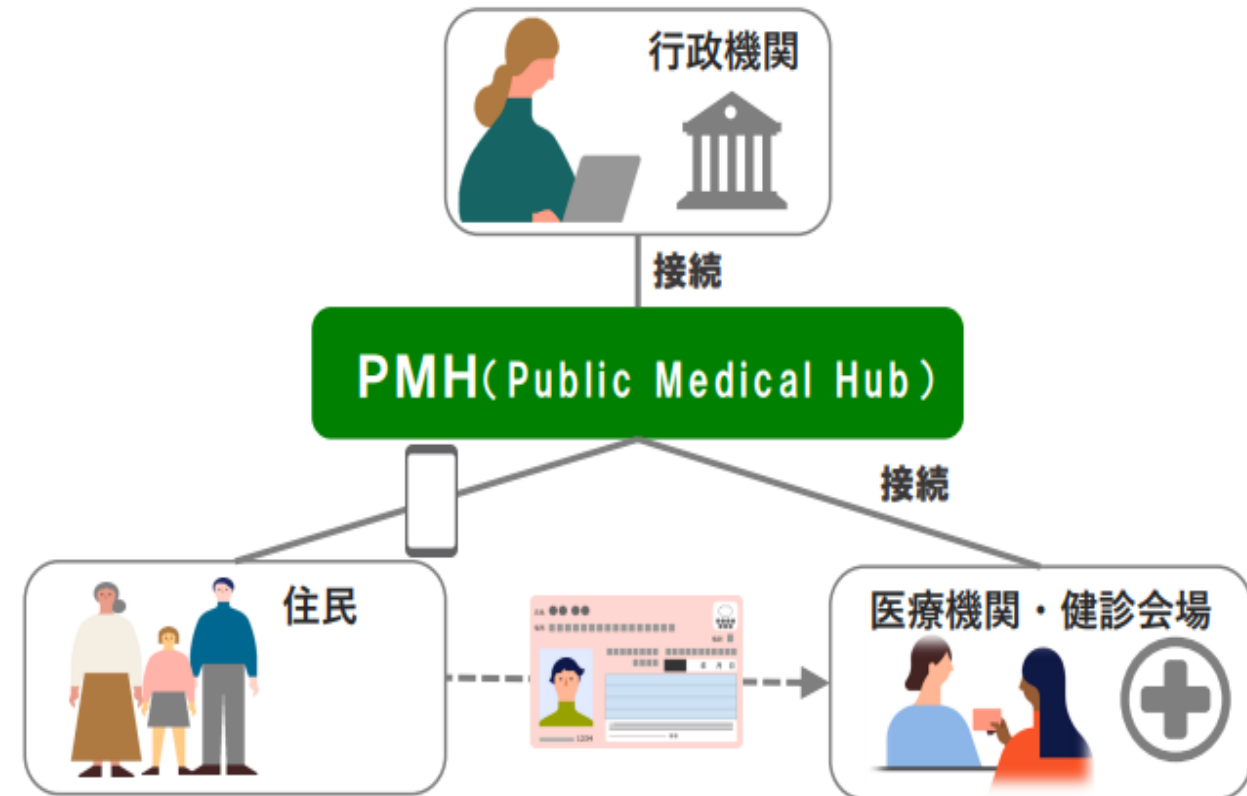
取組状況

- 東京都が所管する医療費助成（小児慢性等）について、今年度中にPMH接続が完了予定

今後の取組

- 国の支援策を活用した区市町村のPMH接続を促進するため、デジタル庁と連携した説明会を実施
- 自治体のPMH接続のベストプラクティスをまとめるなど、**自治体向け周知活動を実施**
- 医療機関・薬局の接続促進のため、**都の新たな補助制度を創設**
(デジタル庁の補助制度に上乗せ)

＜母子保健オンラインサービス（PMH）接続イメージ＞



保育園探しから入園までの手続きがワンズオンリー・オンラインで完結

保護者



事前
相談

情報
収集

見学
予約

希望
決定

申請

結果
受領

ワンストップの入園システム

自治体
担当者



相談
受付

審査

結果
通知

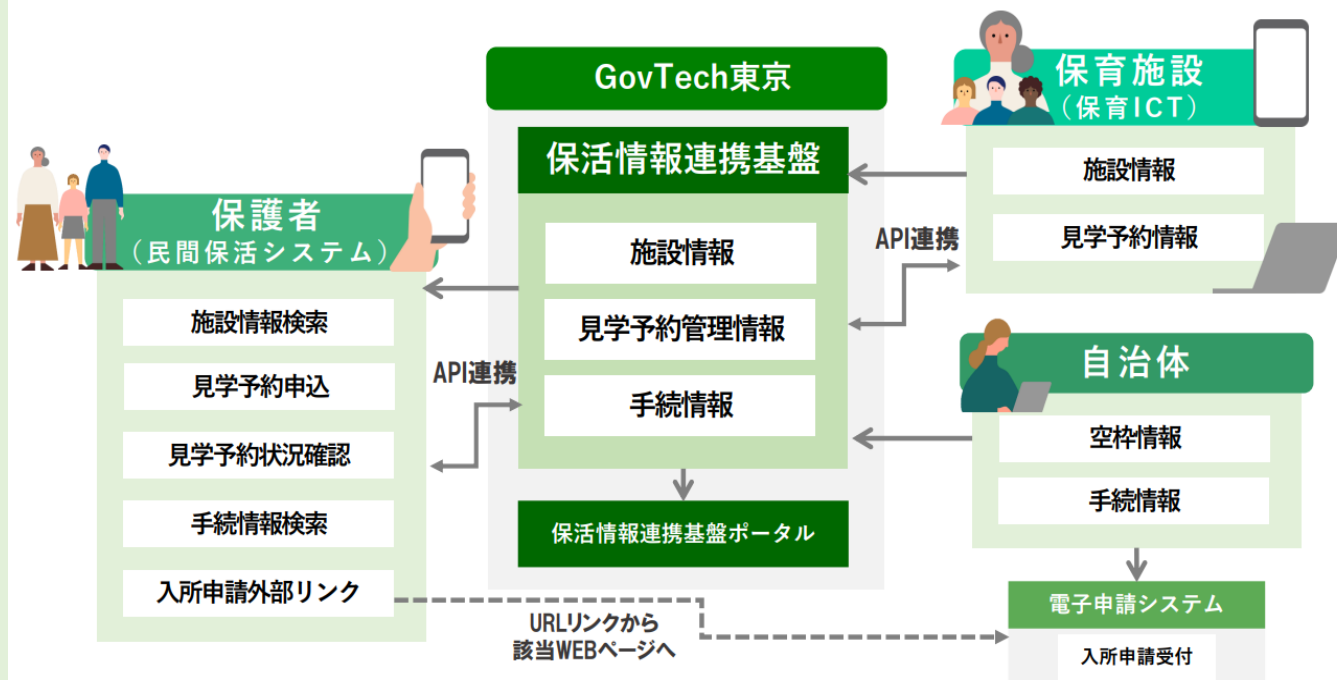
取組状況

- 国のデジタル田園都市国家構想交付金 TYPESを活用して取組を実施（採択済み）
- 連携 **3** 自治体（板橋区、足立区、調布市）とともに取組を開始

今後の取組

- GovTech東京が**保活情報の連携基盤を構築**
- 民間保活アプリと保育ICTシステムを改修し連携基盤とつなぐことにより、
保活ワンストップシステムを実現
- 保活ワンストップサービスを秋に開始予定
 - ・ 連携自治体の年度途中の入園手続きから利用
 - ・ 120程度の保育施設が参加見込

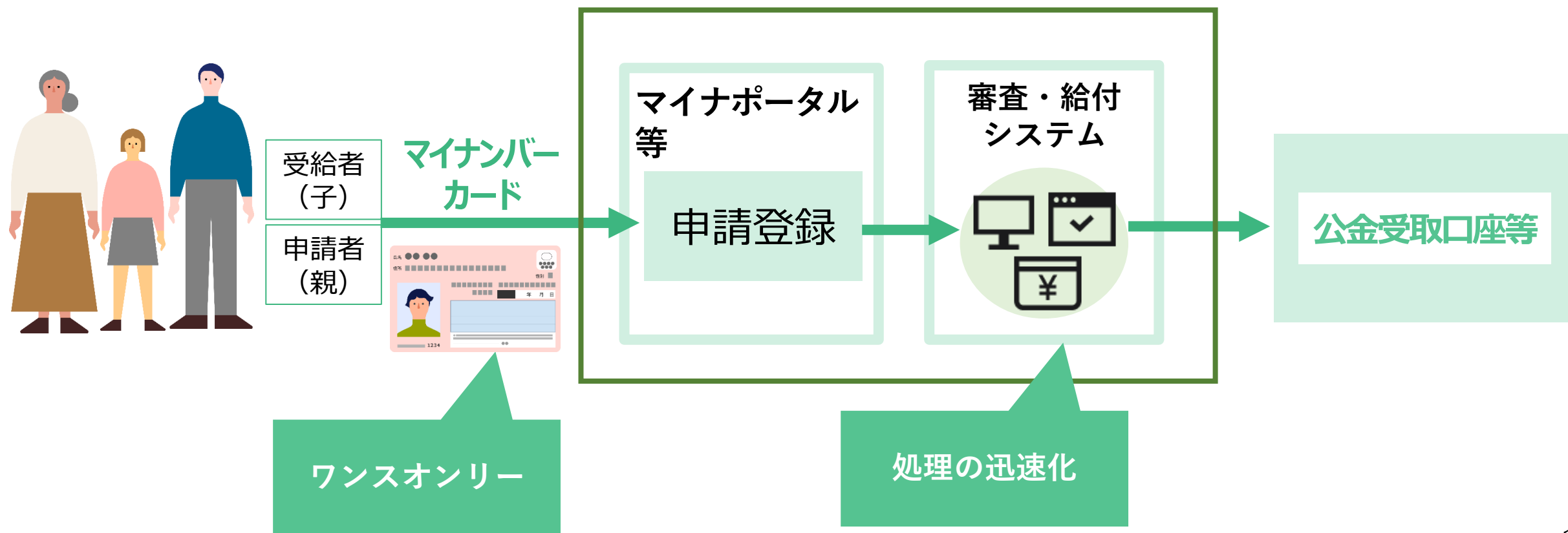
<保活ワンストップシステム イメージ>



給付金手続の利便性UP

出典：東京子どもDX2025 つながる子育て推進会議（第1回）資料

こどもの成長を支えるための給付金等についても、国、区市町村と連携し、ワンスオンリーの徹底や簡単便利な手続を実現



給付金手続の利便性UP

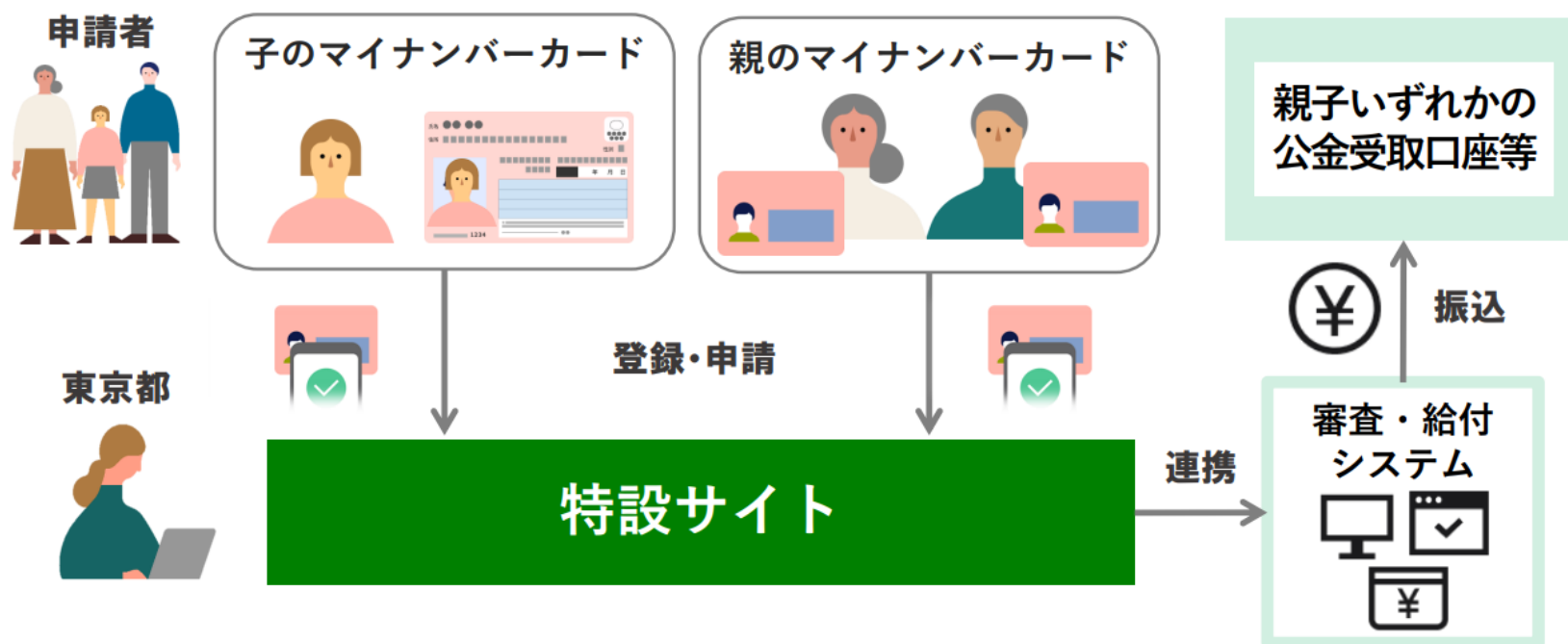
取組状況

取組状況

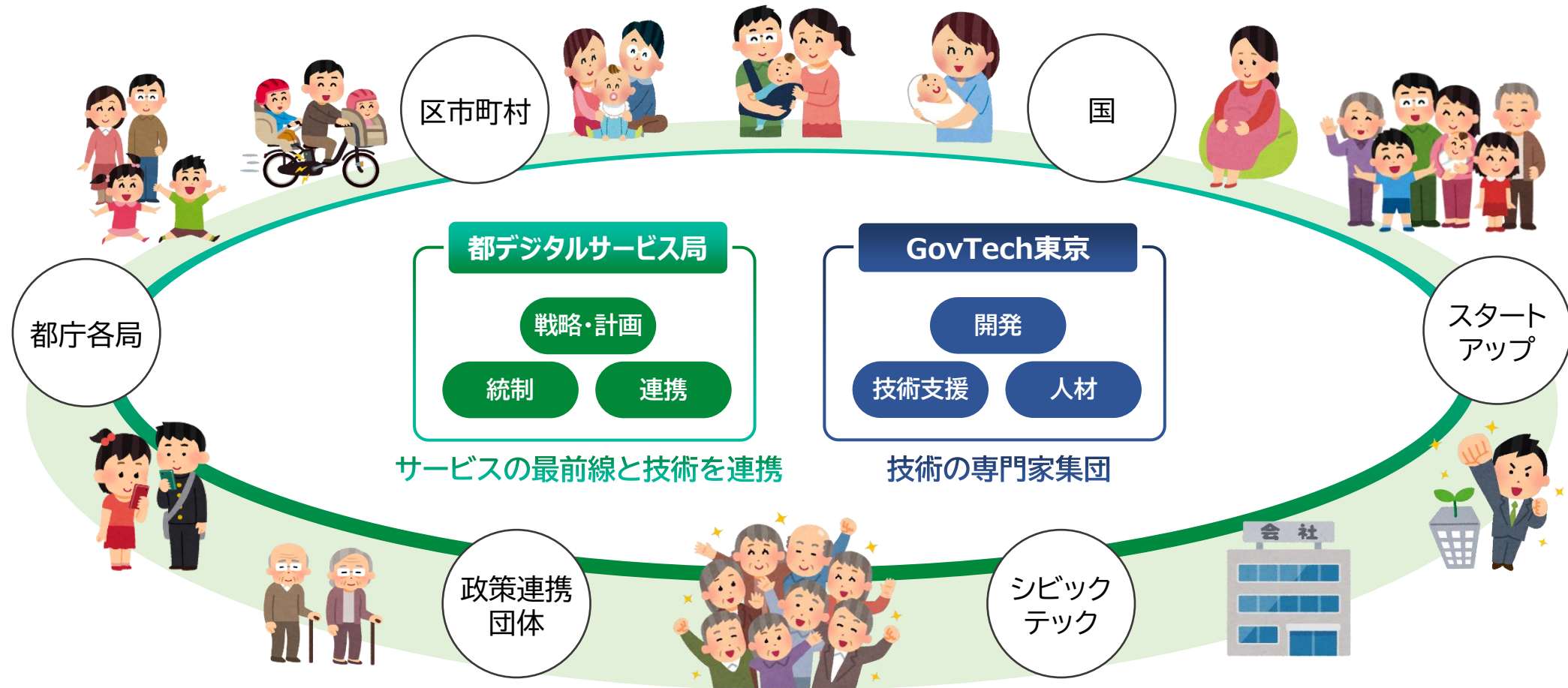
- 「018サポート」において、デジタル庁が構築する「自治体向け共同利用型の給付支援サービス」との連携により、親子のマイナンバーカードをスマートフォンにかざすことで申請できる新しい仕組みを、デジタル庁、GovTech東京と協働して導入

今後の取組

- 「018サポート」の簡単・便利な申請方法については6月11日（火）から受付開始予定（※令和5年度に申請済みの方は、原則としてプッシュ型で支給し、改めての申請は不要）



東京都が、行政サービス変革の推進力となる



“ 情報技術で行政の今を変える、首都の未来を変える ” (GovTech東京の理念)